

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

被災地を訪問して④

今回は、南相馬市立原町第三小学校のみなさんからお聞きした現状や要望について、一部お伝えします。

「今、この地域は原発から30キロ圏内ということで、子どもたちは全国に分散しています。ただ、ここに残っている子どもたちもたくさんいるので、隣の学校をかりるということで連絡調整をすすめているのですが。この学校は600人弱ほど子どもがおりますので・・・。保護者に話を聞くと、戻りたいと。ただ、ここに戻ってきても仕事もないし、住むところもないと。また、仕事がここにしかないから、ここに残っているけれども、原発のことが心配だと話されます。私たち教職員も同じ状況です。ウィークデーはここにおいて、週末は避難先に帰る、という方が多いと思います。」



【原町第三小学校の職員と懇談する様子】

「これから隣の区で学校が再開されますが、保護者の方は多くの不安を抱えています。各学校で放射線の計測も始めましたが、とにかく正確な情報を出していただきたいと思います。保護者の方にいろいろ聞かれますが、『大丈夫です』とも『大丈夫ではありません』ともいえません。私たちの主観になってしまうので。とにかく子どもの安全が第一なので、文部科学省で、この数値なら校外活動も安全です、とか、保護者の方に説明できる形にしてほしいと思います。」

「法的なことを、緩和していただき、子どもたちに手厚く、例えば、人的な配置にしても、これからの心のケアとか、戻ってきた子どもたちへの対応などが必要だと思います。そのようなことを、手厚くしていただけると助かるなと思います。」



【防波堤も地震・津波の影響を受けている】